

3月定例会

常任委員会 の活動

総務 常任委員会

確定申告会場の1本化

Q 確定申告会場を1カ所にしたため、多くの不満が聞かれたが。

A 本来、申告は本人が直接税務署でするものであり、e-taxでの申告をすすめている。1カ所にしたのは行政改革の一環である。

税務課

体制と基金

Q 会計課の体制と基金残高は。

A 人員は4人で不正・防犯体制は十分だ。県西部の他町村は2人である。基金は平成26年度末55億円の見込みで、運用に神経を使っている。

会計課

調査の進ちよく

Q 進ちよく率・効率を高める調査方法はないか。

A 人員・予算次第で高められる。本町は西部地区で唯一遅延がない。地震による変動は国土地理院が計測し、座標確認で土地面積が変わることもある。

地籍調査課

意見交換会



シルバー人材センター理事と

1月15日、公益社団法人シルバー人材センターと意見交換会を行った。

定年後のライフワーク「いきがい」「楽しみ」「社会貢献」などを目的に活動する状況と要望を聞いた。今後の課題などについても意見交換した。

大山チャンネル

Q (株)アマゾンラテルナへの編集業務委託の内容は。

A 旧逢坂保育所にサテライトオフィスを開設する。民間視点で大山チャンネルが大幅に刷新され、観光客誘致や雇用創出で町を活性化させる。

企画情報課

10年プラン

Q 「未来づくり10年プラン」策定の状況は。

A 平成26年度は素案策定作業を行った。平成27年度は、社会実験などで素案を磨き上げ、計画書を作成する。

集会所の運営

Q 同和对策事業の集会所運営事業の修繕料について、町がどこまで負担するか。

A 軽微なものは地元負担で、大きなものは町と地元で行う。

Q 使用されていない集会所もあるが。

A 内容をチェックして善処する。

人権推進課